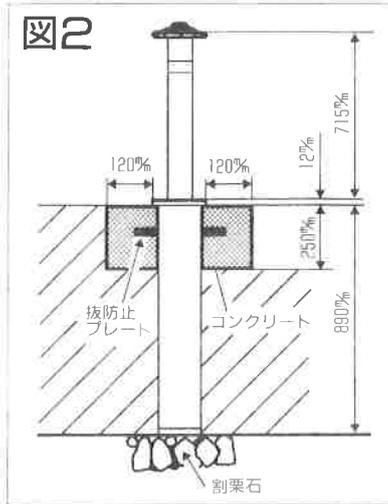
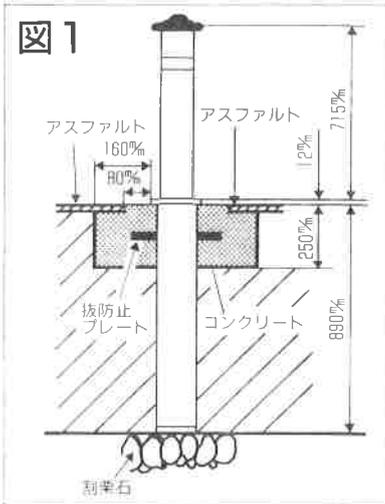


取扱説明書 収納式ポール(反射テープ付)チェーン内蔵タイプ・端末タイプ

※工事店・販売店へのお願ひ…施工終了後は、施主様にこの説明書を必ずお渡しください。

- このたびは当社製品をお買上げいただきまことにありがとうございました。本製品を正しく施工・御使用いただくため必ず取扱説明書をお読み下さい。
- お読みになったあとも取扱説明書は大切に保管して下さい。

■施工方法



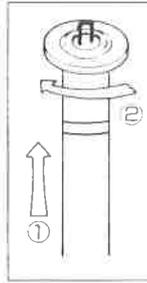
アスファルトで施工される時

- 水はけをよくするために最下部に割栗石をして下さい。
- アスファルトの厚さを計算して地面仕上線より250mmをコンクリートで固め、図のようにアスファルトで施工して下さい。
- アスファルト施工前に踏こわされないよう注意して下さい。

コンクリートで施工される時

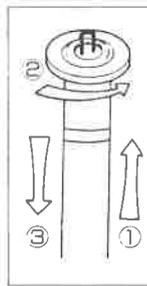
- 水はけをよくするために最下部に割栗石をして下さい。
- 本体を固定するため最低250mmのコンクリートでかためて下さい。
- 保護キャップは12mm地面上に出して下さい。

■使用方法



あげる時

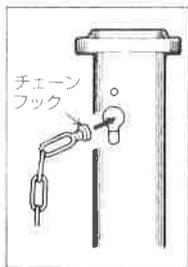
- ①支柱をとまるまで持ちあげて下さい。
- ②右の方向にとまるまで廻して下さい。
- ③固定している事を確認してから手をはなして下さい。



さげる時

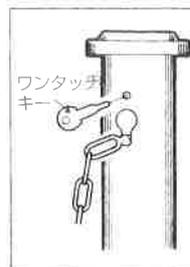
- ①支柱を持ちあげます。
- ②左方向にとまるまで廻して下さい。
- ③そのまま押し下すと下がります。

チェーンのセット及び解除方法



セット方法

- チェーンフックを相手のポールにさし込み、おろして下さい。
- チェーンフックが確実にロックされたことを御確認下さい。



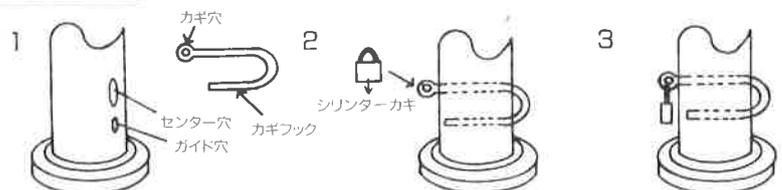
解除方法

- ワンタッチキーを丸穴に差し込んだ状態でチェーンフックを上げ、引きだして下さい。

カギ付きタイプの施錠方法

使用効果

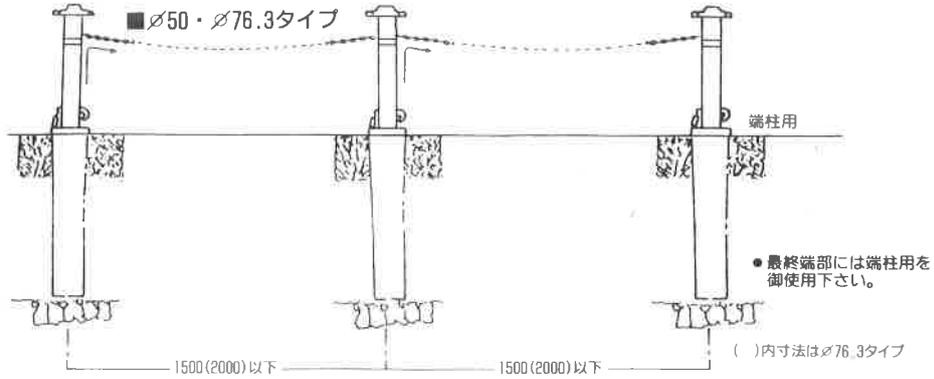
- ①車止めのいたずら防止。
- ②カギフックが「D」型になっているので、カギを保護します。
- ③カギフックが「D」型になっていて、持ちやすく操作が簡単です。



- ①カギフックをセンター穴とガイド穴の両方に差し込みます。
- ②カギフックのカギ穴を反対側に通し、出します。
- ③カギフックのカギ穴にカギをセットして操作は終了です。

※チェーンを引き出してから施錠して下さい。

施工 配置図



⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、または物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

- 御使用の際は、支柱が最上部で固定されているか、ヘッド部をかるく押して御確認下さい。

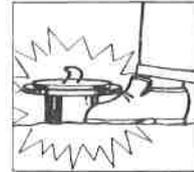


- ボールの出し入れの時は、必ずゆっくりと出し入れして下さい。特に、雨ふり又は雨上がりの時、水はねの恐れがありますので、注意して下さい。

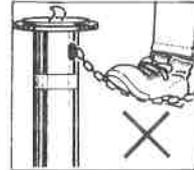
- ボールをさげる際、チェーントッテを確実に収納してからさげて下さい。



- ヘッド部が大きくなっているため、収納する時には足をはさまない様に下げて下さい。



- チェーンの上にはのらないで下さい。



- チェーンはゆっくりと引き出して下さい。
- カギフック、シリンダーカギ、ワンタッチキーは、なくさない様注意して下さい。

■お手入れについて

ステンレスの表面に付着したほこり・すす・ちり・鉄粉などをそのまま放置しておきますと、さびの原因となります。これをはやく除去することがステンレスをいつまでも美しく保つこととなります。普段の手入れは濡れ布でよごれを拭き取り、油よごれは中性洗剤で拭き取り、その後水洗いすれば理想的です。洗剤で取れないひどいよごれは、市販のステンレス用清掃剤などを柔らかい布につけてこすり落とし、十分水洗いをしてから乾いた布で拭きとってください。(必要以上にこすらないでください。)

〈ご注意〉

- ①金属タワシや砂入りの粗い洗剤などは、傷の原因となりますので使用しないでください。
- ②付着した油脂類をとるためにシンナーを使用すると、表面の光沢を乱しますのでおやめください。
- ③ステンレスは塩素にとっても弱いので、タイル洗浄剤や次亜塩素酸ソーダ(フリーチ、ハイター等)や、苛性ソーダは使用しないでください。

■仕様

タイプ	材質
反射テープ付φ50 チェーン内蔵タイプ	SUS304
反射テープ付φ76.3チェーン内蔵タイプ	SUS304
反射テープ付φ50 端末タイプ	SUS304
反射テープ付φ76.3端末タイプ	SUS304